

# 桐鈴凛々

第105号  
平成28年1月15日発行  
発行責任者  
社会福祉法人 桐鈴会  
理事長 黒岩秩子  
南魚沼市浦佐 5142-1  
電話 025-780-4118  
FAX 025-777-3731  
e-mail  
[info@toureikai.com](mailto:info@toureikai.com)  
<http://www.toureikai.com/>

## 福祉施設の一つのあり方

「こんな福祉施設があってもいいなあ」と

理事 佐藤 剛



新年おめでとうございます

とうとう桐鈴凛々の原稿依頼が来た。長年「桐鈴会」の役員もしていることだし、何でもいゝ：と言うことなので引き受けしてしまったが、それが一番難しい。

桐鈴凛々の原稿でもあり「福祉」という部分は外さない方がいいのか。と、平成27年に視察研修（市議会党派）して福祉施設の一つの「あり方」ということで「目から鱗・・・」の思いをしたことを紹介することにした。

5月に富山県の某POで「富山型デイサービス」の研修をした。普通は、福祉施設となると「お年寄りはお年寄りの施設」「障がい者は障がいの施設」と区別されてしまうが、富山型デイサービスは仕切りを作らず、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいがあってもなくても、誰もが一緒に住み慣れた地域で小規模で多機能、地域密着でデイサービスを受けられる。

いろんな規制があつて、どこでもできるかと言えば、県をはじめ自治体の考え方や理解がなければ実践できることではない。新潟県ではまだ無理だろう。

## 桐鈴会の理念

・ 終のすみかを目指す

・ 「迷惑をかけ合える関係」を目指す

・ 高齢者、しょうがいしゃ、子どもたちが

安心して住める地域を創ろう



今、特別養護老人ホームは要介護「3」以上が入居条件になつて、そういう方々は入りやすくなつた面もあるが、要介護が軽度であつても、認知症であつたり、家族の就業状況の問題もあつたり、発達障がいやなかなかストリートに学校に行けない児童生徒もいたり、様々な福祉ニーズがある。そういうことに身近な地域で対応できる「富山型デイサービス」の共生型福祉拠点の考え方は、これから特に必要になつてくると思う。

また、デイサービスであるが、一緒に「大家族」のような雰囲気でも過ごす時間は、高齢者にも子どもにも、障がい者にとつても居場所ができ、その中で自分なりの役割を見い出せたり、思いやりや優しさを身につけるといふ効果もあるのだろう。

「福祉」というと、高齢者福祉や障がい福祉というように縦割りに考えてしまふが、いろんな立場の人が等しくその社会の中で「しあわせ」や「生きやすさ」を感じるのが「福祉」だとも思う。そう考えると、縦割りでない全部一緒の富山型デイサービスの考え方で福祉施設もあつてもいいなあ・・・。

(注) 「富山型デイサービス」は今では全国に広がって、いくつか同じようなものができているようです。

工房とん管理人 森山里子



ケアハウス 鈴懸

# あけましておめでとらございませす

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



新 浦 新  
 潟 佐 潟  
 県 5 県  
 南 1 南  
 魚 4 魚  
 沼 2 沼  
 の 1 の  
 市 1 市  
 桐 1  
 鈴 会  
 懸 同  
 社 員  
 役 職  
 者 員  
 一  
 同



鈴懸おはようヘルプ





工房とんとん





グループホーム桐の花



グループホームひまわり

## おひさま家族会に参加して

利用者の母 吉楽友子

12月8日穏やかな雰囲気に包まれたおひさまの家族会に参加させていただきました。

私の娘は、夏から体調を崩し、10月の中旬から入院していました。家族会の日を楽しみにしていたのですが、何とか前日に退院することが出来て、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

秋を感じさせてくれるおいしい料理をいただきながら、いろいろのお話を聞くことができました。

家族であつても、一緒に生活することはむずかしい事なのに、年令も性別も障がいも、今まで育ってきた環境も全部違う七人が、一つ屋根の下で暮らすむずかしさ。「時にはぶつかることもありますが、仲良く生活しています。」との言葉に職員の方の計り知れないご苦労があることと、思います。

おひさまに「お茶のみに来たよお」と気軽に顔を出して下さいと言ってくださいました。娘の入院中も気分転換に、買い物の日を外出に誘ってくださいたり、外泊を試してみたりと本当に一生懸命気遣ってくださいました。私たち家族にとつて、こうして安心してお願いできる場所があるということが、本当に心強く感謝です。



食卓を囲んでおひさま家族会

そして、もう一つ私がこの会で感じたことは、職員の方皆さんが思いやりがあつて、元気がパワーがあるということです。お花や習字、山登りにスポーツ

と、仕事だけでなく趣味を持つて生きいきとしていらつしやるということなんです。何の趣味もとりえない私は、来年こそは何か始めようと強く思つて帰つてまいりました。

来年も是非参加させていただきたいと思ひます。



## 北海道研修会報告

おひさま生活支援員

富永なつみ

北海道の札幌で開催された「地域を支えるための育てあい」フロンティアの地 北海道から」に参加してきました。大会は2日間行われ、2日目に障害者部会が開催されました。

障害者部会では、精力的に活動されている当事者(障がい者)を主体として発表がされました。中でも特に印象に残っているのが花田さんの発表でした。花田

さんは3歳の時に筋ジストロフィーを発症されて、24時間人工呼吸器を使っている方です。10歳までは歩いていたのですが、今は車椅子、24時間介護で生活されています。彼は「21歳で病院を出る事が出来て幸運だった」と話していました。地域に出て生きていくパワーを持っている方だと感じました。介助があれば、カラオケもできると感じる。ともおつしやつていました。彼はとてもきらきらしていました。

利用者の才能や個性に「素敵なんだなあ」と感じたり、尊敬できる部分に多々出会つたりします。しかし、自分に自信がない、自分の事が嫌い、自分の人生を後悔している方が多いと思います。悩むことも必要な事だ、その人の人生だといいますが、私はやりたいことをやって、笑つていてほしいと願つてしまいます。誰だつて根本的には必ず笑つていたいはず。花田さんはきらきらと光つていて、自分の人生を楽しんでいるように見えます。

一方でピープルファースト（当事者権利擁護団体）からは、障がいがあることによって、他者と同じ教育を受けてこられなかった、体育の授業は受けたことがない、親に虐待を受けていた、など差別を受けてきた内容が発表されていきました。障がいのある子・その親を支え、障がいのある子でも生きやすい社会でなければいけないと感じます。今回の研修会ではたくさんの人に出会うことが出来ました。一人の人を支えるためには、たくさんの人が関わっていくことが大切だと改めて感じました。



### 新管理者あいさつ

おはようヘルプ

管理者 平本恵子

「おぎやー」と、新米管理者が誕生してしまいました。先輩ヘルパーに囲まれ、日々ヘルパー修行に囲まれ、暮れて？います。

これからも、健全かつ皆様から愛される事業所を目指してまいります。



### 新任職員あいさつ



おはようヘルプ

訪問介護員 富山総子

今まで施設勤務でしたので、土地勘がなく、何事も覚えるのに手間がかかる年齢ですが、利用者の立場に立ち、気持ちにより添えるヘルパーになりたいと思います。



グループホーム桐の花

山崎 彩

高校を卒業してから介護職に就き、縁あって11月23日から桐の花に勤務しています。桐の花では一番若い職員（23歳）ということで、この若さを武器に利用者の皆さんと毎日楽しく過ごせたらと思います。



グループホーム桐の花

井口和代

子どもに手がかからなくなったので、今度は自分のやりたいことをやろうと思っていました。

以前から介護の仕事に魅力を感じていました。桐の花では、何もわからない私に、親切に教えていただいています。毎日に変化があり、日々勉強です。



工房とんとん

横山奈穂子

縁あって工房とんとんに仲間入りさせていただきました。はじめと健康がとりえの三児の母です。読書、音楽、スポーツ観戦が楽しみです。人の役に立てる仕事ができるような色々な経験を積んでいきたいです。



工房とんとん

服部奨馬

11月から工房とんとんで勤めさせていただいています。今まで介護の経験は無く、最初は慣れないことばかりだと思うので、見かけたら気軽に話しかけてほしいです。よろしくお願いします。



☆服部さんは18歳です。

### 退職者あいさつ



おはようヘルプ管理者

水落文枝

短い期間でしたが、沢山の人の出会い色々な事を教えて頂いたり、経験する事ができました。桐鈴会の職員として仕事が出来た事に感謝しています。今まで支えて下さいました皆様、本当にありがとうございました。

☆水落さんおつかれさまでした☆



大石亜矢子・大胡田誠ト  
ーク&コンサート

理事長 黒岩秩子

第3回目になるお二人のトーク&コンサートが、今年は3会場で行われました。11月9日は南魚沼市立総合支援学校、10日はこども園と大和中学でした。どこも会場を感動の渦に巻き込んでしまいました。

大石さんはまず初めにアカペラから始めます。「赤とんぼ」「もみじ」「庭の千草」。広い会場なのに隅々まで響き渡るソプラノで、会場を魅了します。子ども園では、子どもたちと一緒に歌える曲を5、6曲やりました。途中後ろ向きになったかと思うと、手を後ろに回して「暴れん坊將軍」を弾いてしまったので、笑いが広がります。その後大胡田さんのトーク。支援学校では同じ障がい者として「夢をあきらめなければ、必ず実る」と訴え、最後に「ありがとう」という大石さんが作詞作曲をした歌を大胡田さんのギターで弾き語りします。



大石さん、大胡田さん、こども園でのコンサート

今回、浦佐小学校4年生で、全盲の石田乃彩さんも演奏を披露してくれました。乃彩さんはヘレンケラーコンクール小学校高学年の部で1位を受賞したばかりです。コンクールの曲「ロンド」（作曲者はフンメル）を弾いてくれました。手の動きが速いこと、そして指が飛ぶこと、曲の感じがいろいろと変化をするので、そこに感情をこめて弾いてくれるので、子どもたちはびっくりたまげていました。

「また来年」という声をたくさんいただきました。

## クリスマスコンサート グループホーム桐の花 高橋陽子

12月5日、ピアノの石田乃彩さん、ソプラノの平賀和子さん、ピアノの上村明子さんによるクリスマスコンサートが行われました。乃彩さんはコンクールで受賞したばかりということで、新聞3社の取材も入り、夢草堂はたくさんの人であふれかえっていました。

そんな注目の中で乃彩さんはお母さんに手を取られて登場し、これまで練習してきたコンクールの曲「ロンド」他2曲演奏しました。とても優しく澄んだ音に、引き込まれるようでした。平賀和子さんの独唱は「かあさんのうた」でしつとりと始まり、「アベマリア」ではお堂に響き渡る声に、はっとするような静かな気持ちにさせられました。その後はクリスマスソングで気分もハッピーに。伴奏者の上村明子さんも軽快に「ジングルベル」他1曲を演奏、盛り上がりつつコンサートは終了しました。そしてアンコールのお願いに、

平賀さんが「アベマリア」を歌い、乃彩さんも「ロンド」を弾いてくれました。最後に職員から工房とんのお菓子のプレゼントをお渡しして、3人のご厚意に感謝しました。



夢草堂でピアノを演奏する乃彩さんと母なほみさん

## AKIRA コンサートに 参加して

浦佐認定こども園 中島育子

「今日の午後、夢草堂へコンサートに行くよ。」と子ども達に声を掛けると「えー、何のコンサート?」ミュージシャンでもあり画家でもあり、また作家でもあるAKIRAさんの事を何も知らないままコンサートに参加した私達でした。

夢草堂に着くとAKIRAさんの姿はまだそこにはありませんでした。「何が始まるのかな。」という、まだ見ぬ未知の世界に子ども達の心躍らせている様子が伝わってきます。数分後、「おう、子ども達!」と、ギターを抱えて登場したAKIRAさんの海賊を想像させるような風貌に驚いたものの、その不思議な魅力に一瞬にして取り付かれてしまいました。子ども達と何気なく交わされた言葉から、そこに

参加したすべての人達のありのままの姿を受け入れてくれる懐の広さが伝わってきます。力強く響き渡るギターに合わせて全体から発せられる歌声に、心の底から溢れだしてくる楽しさを抑えることができない子ども達も、体全体で楽しさを表現しています。そんな姿を見てAKIRAさんから「いいぞ、子ども達。踊れ!踊れ!」と、声が掛かります。会場のボルテージもあがりいつのまにかAKIRAさんの世界に会場全体が引き込まれていたのです。AKIRAさんの歌は、どの歌からも「すべての人が生きてい

くの値する。」というメッセージが感じられ、心の奥底に沁みこんでくる言葉がそこにありました。障がいを持つ人も老人も子どもも、いわゆる社会の中では弱者と言われている人達が美しく輝きのある大切な存在であることを感じさせてくれる、そんな歌の数々でした。

後日、AKIRAさんのブログを開いてみました。そこには生き生きと楽しそうに笑っている子ども達がいきました。そんな子ども達を「未来の子ども達」と題してくれたこと、とてもうれしく感じました。機会がありましたらもう一度聞いてみたいです。



AKIRA と子ども達 (27 11/25)

ブログより転載



# とんとん感謝祭

工房とんとんサービス管理責任者

湯本利恵子

9月23日(勤労感謝の日)に、感謝祭を行いました。



夢草堂でのバザーの様子

カフェの五百円ランチをメインに、生活介護班では「お菓子すくつちやお♡」というなかなかお玉でくれないゲームがあったり、二階では感謝祭用のパンやお菓子の販売、かりんとう詰め放題や手作り品の販売を行いました。夢草堂では、皆様から持ち寄っていただいたバザー品の数々が飛ぶように売れ、楽しく販売できました。

## 工房とんとんすすカフェ~able~ NEWS

感謝祭に来ていただいた皆様、ありがとうございます。そして、これからもよろしくお願いたします。

**土曜限定** **冬のサービスランチ** 11:00~14:00  
なくなり次第終了します。

**A. たっぷり 3種類のパン+ミニサラダ+ドリンク ¥500**

<b>HOT</b> ドリンク	コーヒー 紅茶 ミルク カフェー	<b>ICE</b> ドリンク	アイスコーヒー アイスティー 野菜ジュース オレンジジュース
--------------------	---------------------------	--------------------	---

**B. 本日の 3種類のパン+ミニサラダ+スープ ¥500**  
からお選び下さい。

※お好きなパンを3種、白いお皿にお取り下さい。



### 工房とんとん

#### 桜井さんのレシピ

#### 魚沼ののっぺ (4人分)

##### \*材料

貝柱 7~8個(生のホタテでも可)

なめこ 1袋

里芋 2~3個

人参 1/2本

レンコン 中くらいの1本

ゴボウ 1/2本

かまぼこ 適量

##### \*調味料

かつおだし 4カップ

薄口しょうゆ 大さじ2

砂糖 小さじ1

酒 100cc

塩 小さじ1

煮えにくい物から先にだし汁で煮て、火が通ったら調味料を入れ、味がしみたらできあがりです。

\*切り方をそろえておくと仕上がりがきれいです。



# 山元加津子 講演会のお知らせ

長年、石川県の特別支援学校で教員をしていた山元加津子さんは、障がいを持った子どもたちとの付き合いの中で、たくさんのお話を学びました。自ら「発達障がい者」とご自分のことを呼ぶ加津子さんは、方向音痴で、一人で初めてのところに行くのは苦手、持ち物をどこにでも置いてくる、・・・などなど苦手なことがいっぱいの方。

桐鈴会の職員たちから、「人手不足で遠くまで研修には行けないから、ぜひ呼んできて」と言われていたので、まずこの方と考えると呼びすることにしました。どなたでもご参加ください。(黒岩秩子)

記

日時 3月5日(土)  
午後4時半から6時半  
場所 夢草堂  
入場無料

## 山元加津子 プロフィール

1957年金沢市生まれ。富山大学理学部卒業後、小学校の先生を経て、平成26年3月まで石川県内の特別支援学校に勤務。現在は作家、エッセイストとして活躍している。

著書は、「本当のことだから」・「宇宙は今日も私を愛してくれる」・「僕のうしろに道はできる」(以上、三五館)、「さびしいときは心のかげです」(樹心社)、「きいちゃん」(アリス館)、「手をつなげば、あたたかい。」(サンマーク出版)・・・など多数。

\*「指談で開く言葉の扉」山元加津子著、500円でお分けします。黒岩秩子まで。



## 新春川柳雑詠



・雪の下すっかり根張れ春の花

おかめ

・初雪も二、三度降れば根雪なり

末作

・初雪へ毛糸編みして娘待ち

朱鷺

・肌をさすみぞれが雪に布団亀

仙人

・初雪や思いなつかし十日町

智

・北風の季節がボタン掛け違い

いろは

・年明けて、おお子の寒さ粉舞い

にゃんこ

・末までの平和を願ひ鳩の群れ

酔

平成28年元旦



## 編集後記



一年前の編集後記の記事に「初雪のしんみりとした情緒もなく、一気に大雪の苦労を強いられてしまった。」とあります。昨年の初雪は例年より遅く降らなすぎて心配してしまっただけでした。私だけ？

今は丁度良い雪の量。「スキ―場だけ降れば良い。」と言う人もいますが・・・私は雪深い冬を越えての春が好きです。

「一年の計は元旦にあり」と言うことわざがあります。一年の計画は年の初めである元旦に立てるべきであり、物事を始めるにあたっては、最初にきちんとした計画を立てるのが大切だということですね。今年の目標は立てられたでしょうか？

集合写真皆様良いお顔をされています！皆様にとっても充実した素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

工房とんとん 佐藤清子